

# 自然の家だより

令和4年  
7月27日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団）

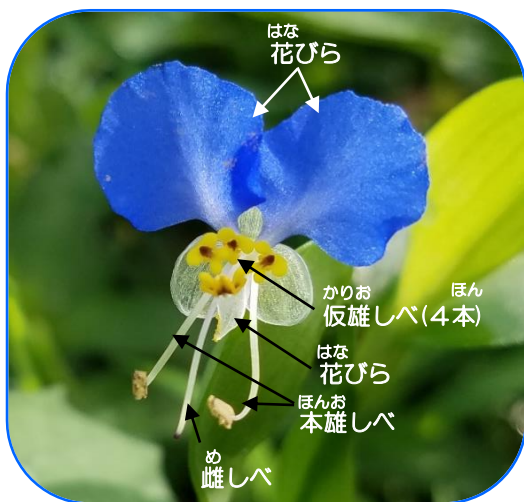
岐阜市山県北野2081番地

Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933 Email:gishizen@he.mirai.ne.jp URL:https://gikyobun.or.jp/gishizen/

梅雨も明けて暑い夏がやってきました。今回のたよりでは、そんな夏真っ盛りの時期に公園の隅や道端などでよく見かける、青色が鮮やかできれいな「ツククサ」の花を紹介していきます。



## ツククサとは

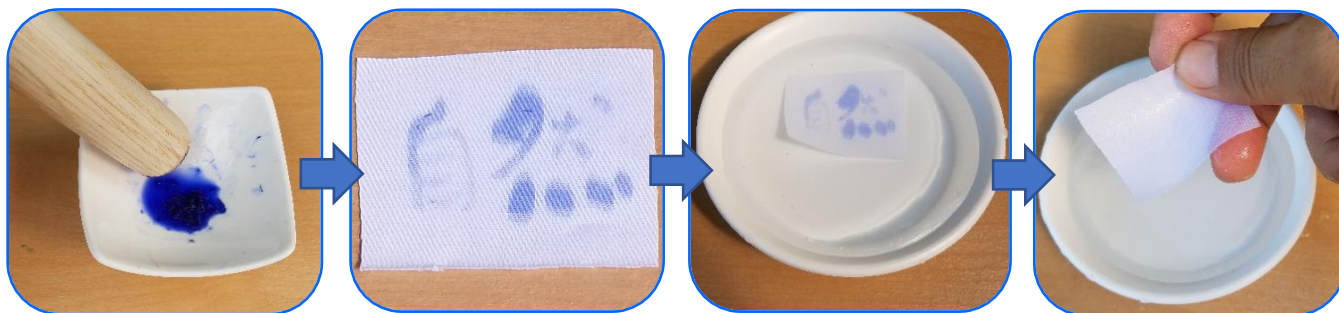


ツククサは6月～9月頃まで小さな青い花をつけます。花びらは3枚あり、羽のような上側の2枚は大きく青色で、下側の1枚は小さく白色です。雄しべは6本ありますが、黄色く自立つ4本は虫などを誘う仮の雄しべで花粉を出しません。雌しべとともに前方に伸びている2本が本雄しべで花粉を出します。花は早朝に咲いて午後には萎んでしまいます。そういった朝露を帯びて咲く様子や、朝咲いて昼には萎む朝霧のような儚い様子から「ツククサ」と名付けられたとも言われています。



## ツククサの不思議

ツククサについて調べていくと、花びらを絞ると取れる青い汁についての不思議を発見しました。それは、絞った汁で文字や絵を描いても、水につけておくだけで消えてしまうということでした。本当に消えるかどうか試してみました。



①花びらをしぼって色水を作る。 ②布地に色水で字を書く。 ③しばらく水につけておく。 ④すると、字が消えた！

科学的には、この青い花びらの色素はアントシアニン系の色素でコンメリニンといい、この色素は水で薄めると色が褪せていく特性があります。昔の人は経験からこのことを知って、反物（着物を作る布）に模様を描くときの下書きの絵の具として使っていたそうです。現在もツククサより一回り大きな「オオボウシバナ」を栽培変種として用いているそうです。

みなさんの周りに咲いている植物はどんな色かな？今回紹介したツククサのような不思議は見つかるかな？探してみよう！